

「仙北市誕生」をテーマにした雪像や楽しさがいっぱい 田沢湖高原雪まつり

2月24日から26日までの3日間、たざわ湖スキー場特設会場で田沢湖高原雪まつりが開催されました。

期間中は「仙北市誕生」をテーマに、田沢湖のたつこ姫と龍や角館町の武家屋敷、お祭りの山車、西木町上桧木内の紙風船上げの雪像に加えて美術大学の学生さんが制作した雪像や、テレビ番組と一緒に雪像を作って以来交流している、新潟県十日町市の雪像職人のみなさんが制作した雪像「ファミリー」などが勢揃いし、点灯式が行われると赤や青にライトアップされました。

25日夜には、田沢湖龍神太鼓や角館火振りかまくら、中仙ドンパン踊り、西木紙風船上げなど、きたうら地区に伝わる郷土芸能のほか、グレンデでは幻想的なたいまつ滑走や迫力のある火の輪くぐりが披露されました。また、最後には、花火が打ち上げられ、会場を盛り上げました。



冬の夜空を彩った花火



田沢湖龍神太鼓



中仙ドンパン踊り



角館火振りかまくら



西木紙風船上げ

仙北市交通死亡事故ゼロ 365日達成!!

3月10日をもって、「仙北市交通死亡事故ゼロ365日」を達成し、3月15日、仙北市役所角館庁舎で仙北警察署池端勝光署長より顕彰が伝達されました。

これもひとえに、交通安全推進機関・団体、市民一体となった交通安全運動を展開されているからこそ、達成できたことと思います。

これを365日にとどまらず、500日、1000日と継続していけるよう、官民一体となった交通安全運動を推進していかなければと改めて実感しました。また、みなさんも交通安全を心がけましょう。



左から、仙北警察署交通課高橋篤課長、仙北警察署池端勝光署長、石黒直次市長、仙北地区交通安全協会千葉源一郎会長、仙北市交通指導隊佐藤義直隊長、角館町老人クラブ連合会藤原剛会長、角館町交通安全母の会連合会菅原祐子会長

東北電力の「明るい街づくり運動」で 仙北市に街灯15基が寄贈される



石黒市長に目録を手渡す竹沢氏（中央）と新田氏（右）

このほど、東北電力株式会社大曲営業所より仙北市へ街灯15基が寄贈されました。

東北電力では、「明るい街づくり運動」の一環として、毎年県内各市町村に街灯を寄贈しており、平成17年度は仙北市角館地区に15基が設置されたもので、3月3日に東北電力大曲営業所長の竹沢吉雄氏と、施工していただいたユアテック角館営業所長の新田寛徳氏が仙北市役所角館庁舎を訪れ、石黒市長に目録を手渡しました。

石黒市長は「街灯を設置していただいたことで、市民が安心、安全に暮らせる街づくりに一歩近づくことができました」とお礼を述べていました。